

様式 4

| <p style="text-align: center;">令和 4 年度第 2 回</p> <p style="text-align: center;">富士見市図書館協議会</p> <p style="text-align: center;">議事録</p> | | | | | | |
|---|--|---|--------|----------------|------|------|
| 日 時 | 令和 4 年 9 月 3 0 日 (金) | | 開会 | 午前 1 0 時 3 0 分 | | |
| | | | 閉会 | 午後 0 時 1 0 分 | | |
| 場 所 | 中央図書館 視聴覚ホール | | | | | |
| 出 席 者 | 委 員 | 出井委員長 | 檜山副委員長 | 伊垣委員 | 金高委員 | 木村委員 |
| | | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ |
| | | 小森委員 | 本木委員 | 野澤委員 | 野瀬委員 | 渡邊委員 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 事務局 | <p>○教育委員会生涯学習課 堀副課長 古川主査 石井主任</p> <p>○図書館 長谷川中央館館長 田畑副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p> | | | | |
| 公 開 ・ 非 公 開 | 公開 (傍聴者なし) | | | | | |
| 次 第 | <p>1. 開会</p> <p>2. 各館事業報告 (令和 4 年度 5 ~ 8 月) 中央・鶴瀬西・ふじみ野</p> <p>3. 議題「第 4 次富士見市子ども読書活動推進計画 (案)」について</p> <p>4. その他 (次回開催日程)</p> <p>5. 閉会</p> | | | | | |
| 配 布 資 料 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 富士見市図書館協議会 令和 4 年度 9 月定例会次第 ・ 令和 4 年 5 月 ~ 8 月活動報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館) ・ 第 4 次富士見子ども読書活動推進計画構成案 ・ さざなみだより (2 0 2 2 年 6 月号 ~ 1 0 月号) ・ とびらしんぶん (2 0 2 2 . 6 ・ 8 ・ 1 0 月号) ・ ほんのくにたんけん (2 0 2 2 . 7 月号) ・ BOOK ADVENTURES SUMMER 2 0 2 2 ・ つるせにしんぶん (2 0 2 2 年 6 月号 ~ 9 月号) ・ ぶんちゃんしんぶん (2 0 2 2 年 6 月号 ~ 9 月号) ・ 図書館まつり 2 0 2 2 チラシ | | | | | |

議 事 内 容

田畑副館長

1. 開会 開会あいさつ

2. 各館事業報告（令和4年度5～8月）

図書館

【中央図書館】

・資料に基づき報告

6月の「としょかんたんけんツアー」は、同日に3年ぶりに開催された「富士見子どもフェスティバル」の協賛イベントとして行った。図書館スタッフが、ふだん目にするのでできない館内を案内するツアーで、親子の参加者がとても多く、人気の企画であることを感じた。

「夏休み工作会」は毎年の恒例行事のため、申込開始の日に枠がすべて埋まった。「こわ～いおはなし会」も人気のイベントで、たくさんのお子さんが参加した。「調べる学習おうえん講座」は、去年は2名の参加であったが、今年は5名の参加者があり、また参加者は全員調べるテーマを決めており、スムーズに作業が進んだ。「子ども司書講座」は3年ぶりの開催で、本来は3日間終日行うものであったがコロナ禍でもあるので、3日間午前中だけ、と時間と内容の変更を行い開催した。

昨年までできなかったイベントが開催できるのは、私たち子どもたちもうれしいと感じた今年の夏であった。

図書館

【鶴瀬西分館】

・資料に基づき報告

おはなし会は、参加者が0人の日があったり、1日に2回開催したりと数が安定していないが、周知は出来ていると思う。

8月に初めて「こわいおはなし会」を実施した。子どもたちがどきどきしているのがよくわかった。いろんなジャンルのこわいお話をバランスを考えながら3冊読んだ。

交流ホールに「がん情報コーナー」を設置した。交流ホールにがんについてのパンフレットやチラシを並べ、本については「がん情報かわら版」というものを作成し、本の情報も提供した。

緩和ケアについてのパンフレットがすぐになくなり、関心の高さがうかがえた。季節により内容を変えていきたい。

「こどものための100冊～ボクニキミに～」昨年度も行った文化通信社の「こどものための100冊」キャンペーンに今年も参加。著名人がおすすめする本を紹介した。今回は、おすすめした著名人

の名前が入った「おすすめカード」を本にはさんだり、冊子体も展開し、配布も行った。

「西ちゃんの調べる学習サマーバック」は、「調べる学習おうえん講座」の講座が終わった子たちに3冊程度の本を一つのテーマでまとめ、フラワーカード（調べる学習を手助けするワークシート）やパスファインダーと一緒にセットした。

「調べる学習コンクール」には、つるせ台小の子は12点提出した。

「ねえこれ読んで、一緒に素敵な絵本の世界へ」は初の企画で、8月24日に実施した。毎年、始業式間近になると憂鬱な気分を抱える子どもが多いと聞くので、その日に何か出来ないかと考えた。今年は宿題に追われていたのかそこまでの人数は集まらなかった。図書館スタッフ1名、ボランティア2名で実施対象は0歳から6年生までと幅広く参加いただいた。

「七夕飾り」は毎年行っており、今年は短冊が63枚ほど集まった。

「わらべうた講座」は、諏訪児童館から講師に来ていただいた。顔見知りが多くいたようで、知った顔が多いと安心につながる。ちょうどお誕生日を迎えたお子さんがいたので、普通のハッピーバースデーではなく、わらべうたのハッピーバースデーを講師の方が歌ってくださった。

「大人のための折り紙講座」は、コロナでずっと延期が続いていたが、やっと開催出来た。バラの開花の時期にぴったりな、かわいらしい花のカードを折り紙で作った。カードは贈ったり、使っても楽しめるものにした。折り図をわかりやすくするために、大きな折り紙をホワイトボードにマグネットで貼って、実際に動かしながら説明した。皆さん上手にできていた。

「読書感想文講座」の中では、たくさんの本の紹介をした。初回に自分が読んで、書いてみたい本を持ってきて、とお願いした。こちらでもブックリストなどいろいろなものを用意した。いろんな本に出合ってもらおう、それがこの講座の目的でもある。

「読書感想文講座2～4年生」は、保護者向けに講師から「本との出会い」という講義を用意した。保護者向けアンケートからは、講座を通して本との接し方がよく分かったというコメントをたくさんいただいた。講座後の家庭学習にもつながっていくと思う。

< 質疑応答 >

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>広報関係が幅広く、その結果の集客だと思うが、どの広報が一番集客につながるのか。</p> |
| 図書館 | <p>その時々によるが、子育てモバイルは小学生くらいまでのイベントに。わらべうたなどは健康増進センターや子ども未来応援センターへのチラシの配布などを行っている。広報富士見、図書館情報誌さざなみなど、各講座の申し込み状況によって使い分けている。</p> |
| 委員 | <p>「サマーバック」はテーマでバックにしているところが面白い。テーマを決めるのは難しいと思うが、このはたらきかけは、いいなと思う。</p> |
| 図書館 | <p>興味がどこにあるのかわからないので、テーマを絞り込まず、大きな括りにするようにしている。フラワーカードを作る時には、以前つるせ台小の先生にアドバイスをいただいた。</p> |
| 委員 | <p>折り紙教室が人気で、受付と同時に満員とあったが、いつも図書館に来てもらうばかりではなく、こちらから出かけていくのはどうだろう。たとえば高齢者施設などで教えてあげると、新しい展開があるのではないかと思う。ひとつ、気になるのが、西分館のがん情報のチラシはとても参考になったが、パンフレットを置くコーナーがとても見づらい。平置きにしてあり、欲しいチラシが取りにくくて諦めてしまう。パンフレットは立てて、ケースなどに挿して欲しい。改善を望む。</p> |
| 委員 | <p>先ほどの施設への派遣の件であるが、富士見市には人材バンクがあるので、こちらに頼むこともできる。</p> |
| 図書館 | <p>【ふじみ野分館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づいて報告 <p>外部連携では夏休み前に、ふじみ野小学校2～6年生の希望者に、電子図書館の登録を行った。155人。電子図書館のおすすめの本のリストも作成した。</p> <p>ふじみ野保育園、慶櫻ふじみ野保育園の園児全世帯に毎月、「ぶんちゃん新聞」を配布している。</p> <p>今年度から小学生向けのおはなし会を中止している関係で、小学校向けのブックトークをふじみ野児童館で行った。課題図書10冊ピックアップして、二つに分け、タイトルを決め流れをくんでいくものだったが、参加者が低学年の3名だけだった。内容は1年生から6年生まで混ぜてのお話だったので、開催に検討の余地があると感じた。</p> |

ふじみ野交流センターとは、毎月の「ふじみ野じゅく」と、「食文化講座」の当日に資料の提供と、開催月の1か月間は、図書館内で資料の展示を展開している。当日はブックリストも参加者にお配りしている。

展示については、5月は富士見市の「パートナーシップ宣誓制度」を受けて、「多様性といろいろなかぞくのかたち」で展開した。7月の児童ではミニ展示として自分と同年の主人公が出てくる物語を1・2年、3・4年、5・6年生の3つに分けて展示した。やはり主人公と自分が同じ歳だと気になって手に取る子も多く、親御さんにも評判が良かった。8月は毎年、「戦争と平和」を取り上げている。

「はるのはらっぱおはなし会」は、5月5日に開催。公園に遊びに来ていた方だけでなく、このおはなし会を目的に来て下さった方も多かった。ブックリストも作成して、配布した。次回は秋の開催を予定している。

「ぶんちゃんひろば」は5月から8月まで毎月行った。特に6月は、勝瀬中学校の科学部の実験教室を行った。午前と午後の2回実施にして、定員も増やしたが、それでもお断りする方が多かった。これは昨年2月に開始する予定だったが、コロナで延期になり6月になった。顧問の先生も午前・午後と2回、悪天候の中、図書館と中学校の間を誘導して下さった。中学校とのコラボは今後も行っていく予定。11月には演劇部と絵本と音楽でコラボしていく予定である。

一般向け講座「はじめての図書館ホームページ活用講座」を開催した。HPが新しくなってから、使い方が分からないという問い合わせをよくいただくので、一度講座をやってみようという声がスタッフから上がった。参加者は2名だったが、このためにわかりやすいレジュメを作ったので、今後問合せ等あった時にはこのレジュメを渡したり、館内に掲示したりして活用していきたい。講座もまた検討したい。

物づくり体験として、折り染めを使った団扇を作った。午前中が子ども、午後が大人だったが午前中参加できなかった小学生も参加し午後は小学生から熟年層までが同じ回に混じることになり、こんないろんな年代の方が混ざるイベントもいいなと思った。また、どんな模様ができているかなど、参加者同士のコミュニケーションにもつながっていた。

夏休みには「ちりめんモンスターをさがせ」という科学講座を、社会に目を向ける貢献事業として「絵本を届けるワークショップ」子どもに夢とファンタジーを届ける事業として、「ぬいぐるみおとま

りかい」、親子で心も体も動かして元気になろうという趣旨の「エアロブックス®」と、多方面にアプローチができたのではないかと思う。

「絵本を届ける運動」は、今回で3回目。今回はアフガニスタンに贈る絵本を作成した。アフガニスタンの女子教育の史実を書いた絵本を読み聞かせした後、国旗や戦争の歴史など紹介した。図書館ならではのワークショップになったのではないかと思う。定員には達しなかったが、前回は今回も参加してくれた子がいた。今後もこういった社会貢献できる講座を開催したい。

「スタンプラリー」は幼児から小学生対象。スタンプを20個集めてくじを引き、景品を渡すもので、スタンプを集める方法として、本を借りる、おすすめの本を紹介する、クイズに正解する、ポプラディアで調べものをする、イベントに参加するがある。ポプラディアでの調べものは、スタッフと子どもたちのコミュニケーションの絶好のチャンスだった。20ポイント集めた子が101人いて、最高5枚集めた子もいた。評判も良く、今後は読書月間の時に開催出来たらと思う。

【質疑応答】

委員

廊下におすすめのカードが展示してあり、静かに読めるのが良い。著名人のおすすめも良いが、自分と同世代の子がすすめた本は興味を持つ子が多いと思う。

委員

HP 活用法。参加者は少なかったが、とても良い取り組みだと思う。今後はその資料を3館で共有し活用すると良いと思う。動画の作成については考えていないのか。

図書館

今のところは検討していない。

委員

「エアロブックス®」は年間4回しているが、4回とも参加しなくてはいけないのか。

図書館

参加はいつでもできる。継続して参加してもらえると、前にできなかった動きができるようになったなど、お子さんの成長もわかるので、継続していただくと嬉しい。

図書館

ここで中央館の事業報告の追加を報告したい。7月15日より託児サービスを開始した。乳幼児を預かり、その間に保護者の方に、図書館を利用してもらうサービスである。1日平均2～3組の利用がある。また、障害者サービスでZOOMによる対面朗読を行っている。講座としては、健康増進センターの管理栄養士とコラボし、栄養講

| | |
|--|--|
| | <p>座を企画している。10月は子ども、11月は大人対象の予定である。</p> <p>また、高齢者福祉課からの依頼でアルツハイマーの特集展示を行った。障がい福祉課からの依頼で、手話通訳者とともにおはなし会を行った。</p> <p>2学期から勝瀬中の学生ボランティアが16名来ている。配架などをしてもらっている。今後も継続していく予定。</p> <p>3. 議題「第4次富士見市子ども読書活動推進計画(案)」について</p> <p>委員長 ここから、議題3の「第4次子ども読書活動推進計画(案)」についてのご説明をお願いします。</p> <p>生涯学習課 最初にお断りしておくが、データは送付したが、まだ完全には内容が決定していない。これから策定委員会で検討していく。年内には決定する予定なので、協議会の皆さんに見ていただき、ご意見をうかがいたい。</p> <p>委員長 とりあえず、今回お送りした資料についてご意見はありますか？</p> <p>委員 3次の計画が目標を下回ってしまっていることが気になった。計画を定めていく方向性に差異がない。事業に関しても検討して、実施した結果、計画に定めた目標達成に寄与していないものがあるのなら、勇気を持ってやめることも必要ではないか。運営に携わっている人の負担を減らすということも、対策としてあるのではないか。</p> <p>委員 私の意見としては、やはり学校との連携が一番必要だと思う。いろんな家庭があるので、やはり学校での読書活動が一番大切だと思う。今後、学校との連携のしくみを作っていけるのか。第3次の取り組みはいろいろあったが、本当にすべての学校でやっているのか。学校司書の活動は各学校によって随分と違う。富士見市で計画・作成しているのなら、学校の中の人が変わっても、必ず伝えていくものを学校司書と図書館が連携していくと良いと思う。特色を出し、それをつなげる。いろんな状況ではあるが、富士見市の子どもは必ずこれを経験している、といったものが必要である。</p> <p>委員 家庭もそれぞれであるから、例えば行政とつながる、出前講座のようなものを図書館でピックアップできると良いと思う。学校の委員会と一緒に入ってもらって、国語の授業や図書指導教材などに参加してもらえるような構造を一緒に作ってもらえたら、良い連携が取れると思う。検討してほしい。</p> |
|--|--|

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>その通りだと思う。総合学習や国語の教科で、教材を使って調べましょう、という授業の時などに、図書館が資料を用意するのはどうだろう。そうすることによって、調べ学習も変わっていくだろう。富士見市の小学生が勉強する時には、学校司書と連携してうまくやっていると良い。</p> |
| 委員 | <p>第4次は第3次の焼き直しに見える。新型コロナを理由に、学校との連携が取れていない。いまだに学校司書はタブレットを持っていないし、週3日、2～3時間の活動時間では、活動時間が足りないし、その時間だけ活動すればよいと思っている司書もいる。活動内容を統一することが必要ではないか。保健室登校と並んで、今は図書館登校という言葉もあるくらいだ。令和3年度の活動を見ると、図書館の活動ばかり焦点があたっており、その成果についての見解が厳しく見える。富士見市として何をしていくのかももう一度考えて欲しい。</p> |
| 図書館 | <p>生涯学習課だけでなく、富士見市全体で考えていくものである。またこの計画書は、家庭・地域・学校で配られているが、内容が多く手に取りづらいかとも思う。いろいろな方に見てもらいたいので、簡易版の作成も必要かと思う。</p> |
| 委員長 | <p>これらの意見を元に、次回までに計画を作成して欲しい。</p> <p>4. その他 次回開催について 今回は12月9日（金）午前10時から開催する</p> <p>5. 閉会</p> |